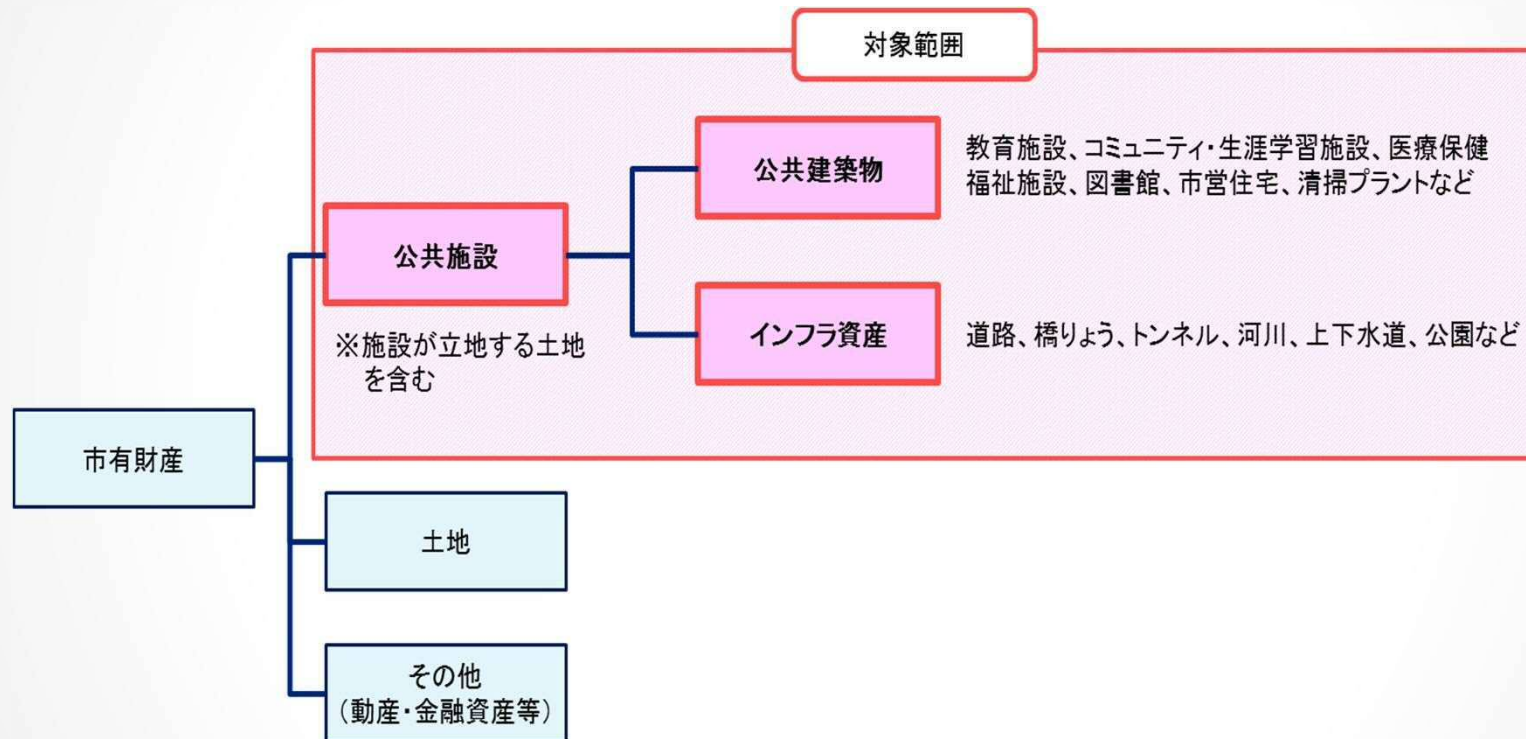


## 1) アセットマネジメントとは

**計画的に効率よく施設の整備や維持管理を行うことで施設の寿命を延ばしたり、利活用促進や統廃合をすすめることで将来負担の軽減を図り、都市経営上の健全性を維持していく手法。**

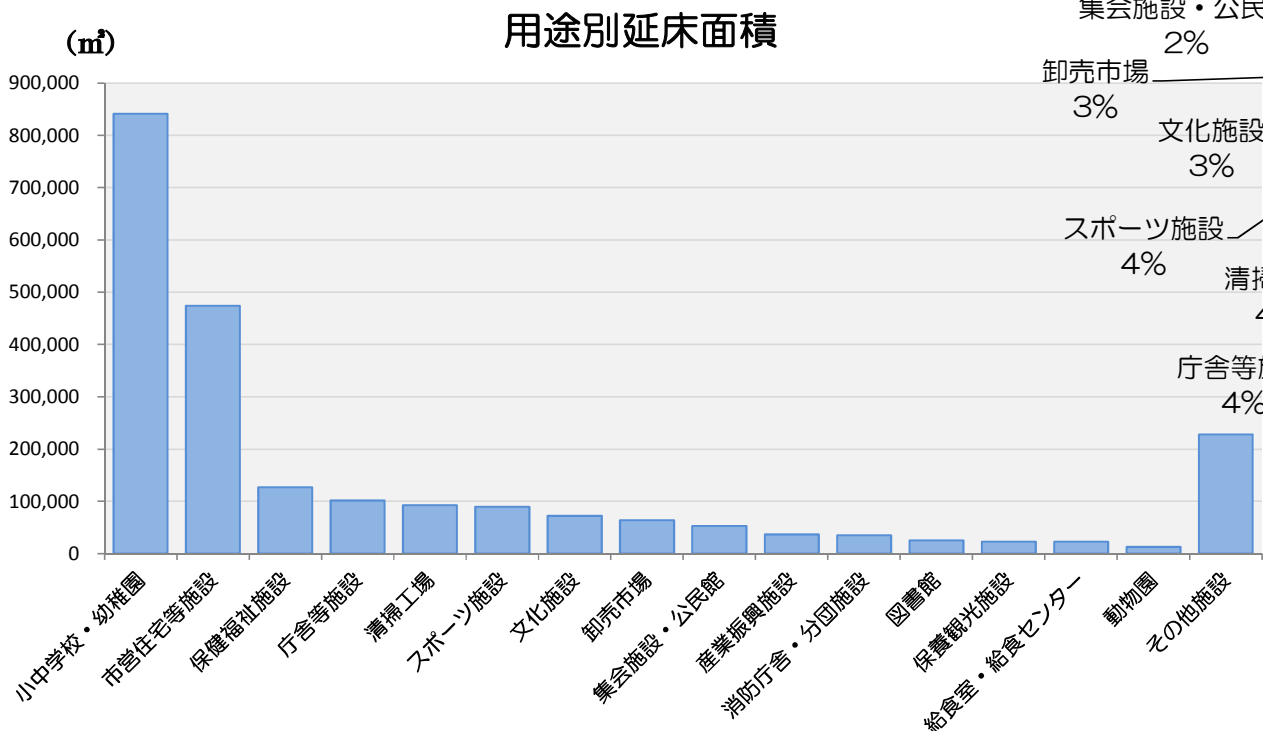
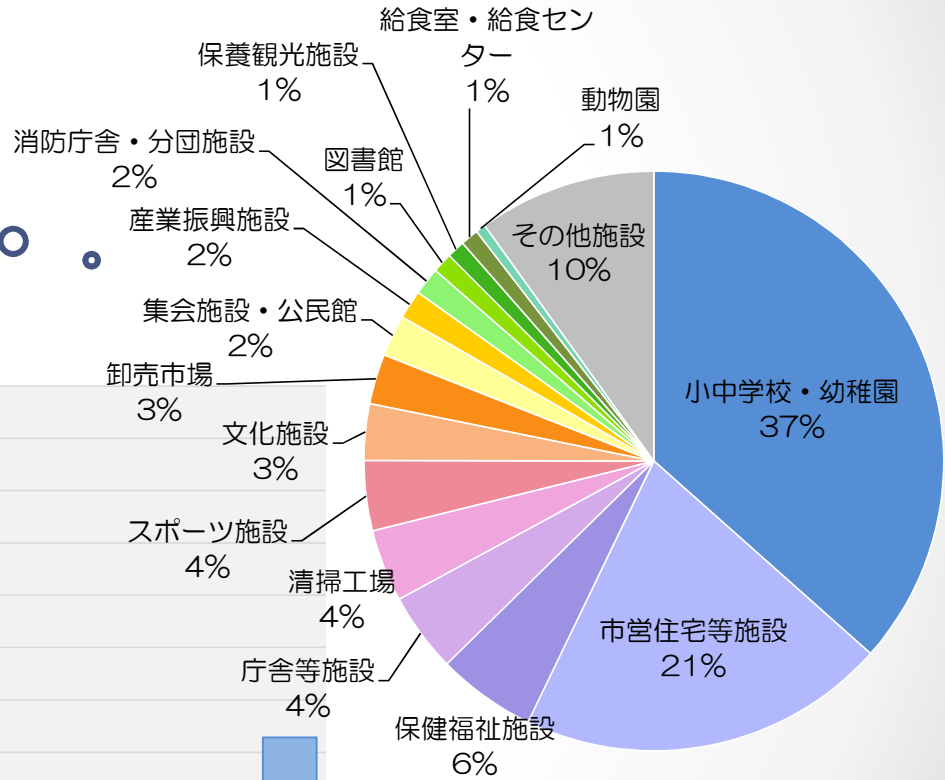
## 2) 公共施設とは



### 3) 公共建築物の現状

棟数：4,285棟  
 総延床面積：2,301,026㎡

教育施設と市営住宅  
 で約6割



※ 延床面積は企業会計を除  
 ※ 平成23年度末現在の保有状況

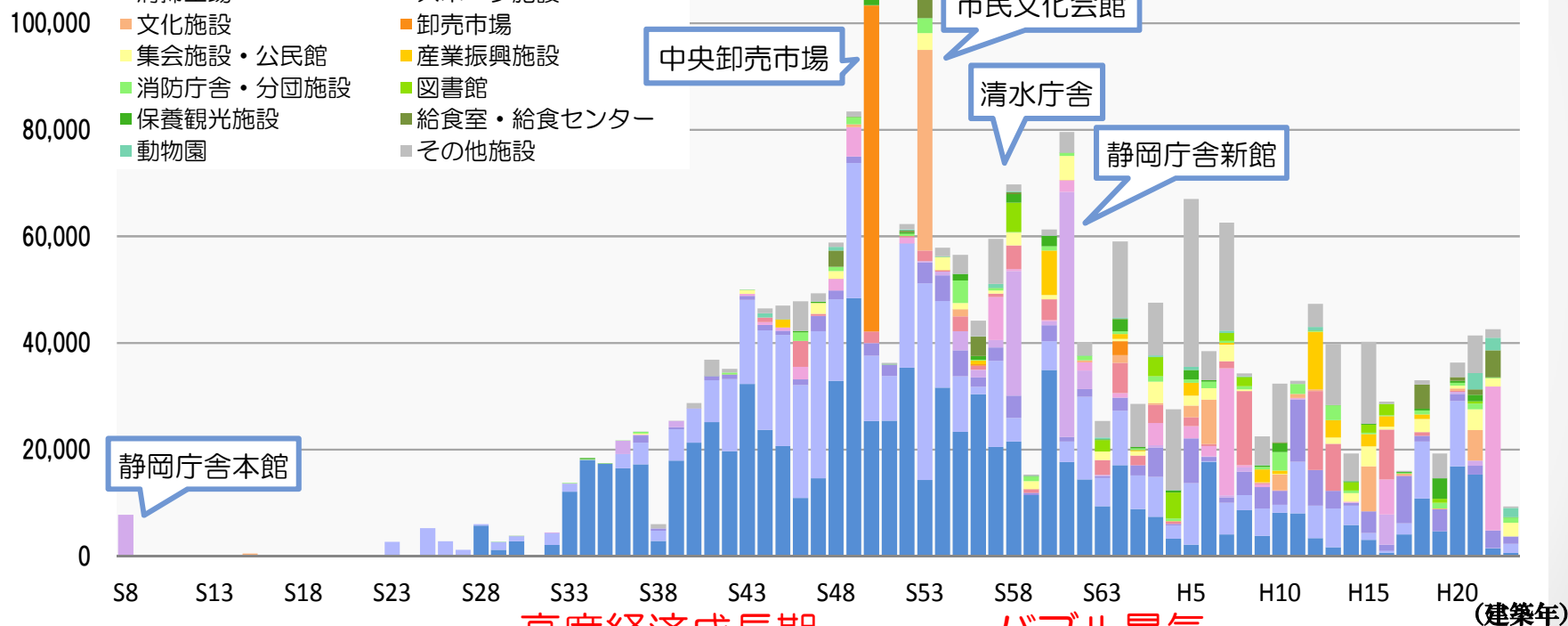
# 4) 公共建築物の築年別整備状況

H24.3末時点

棟数 : 4,285棟  
総延床面積 : 2,301,026㎡

延床面積  
(㎡)

- 小中学校・幼稚園
- 保健福祉施設
- 清掃工場
- 文化施設
- 集会施設・公民館
- 消防庁舎・分団施設
- 保養観光施設
- 動物園
- 市営住宅等施設
- 庁舎等施設
- スポーツ施設
- 卸売市場
- 産業振興施設
- 図書館
- 給食室・給食センター
- その他施設



高度経済成長期

バブル景気



※ 延床面積は企業会計を除く

築50年 築40年 築30年 築20年 築10年

# 『公共建築物施設群別マネジメント の方向性』

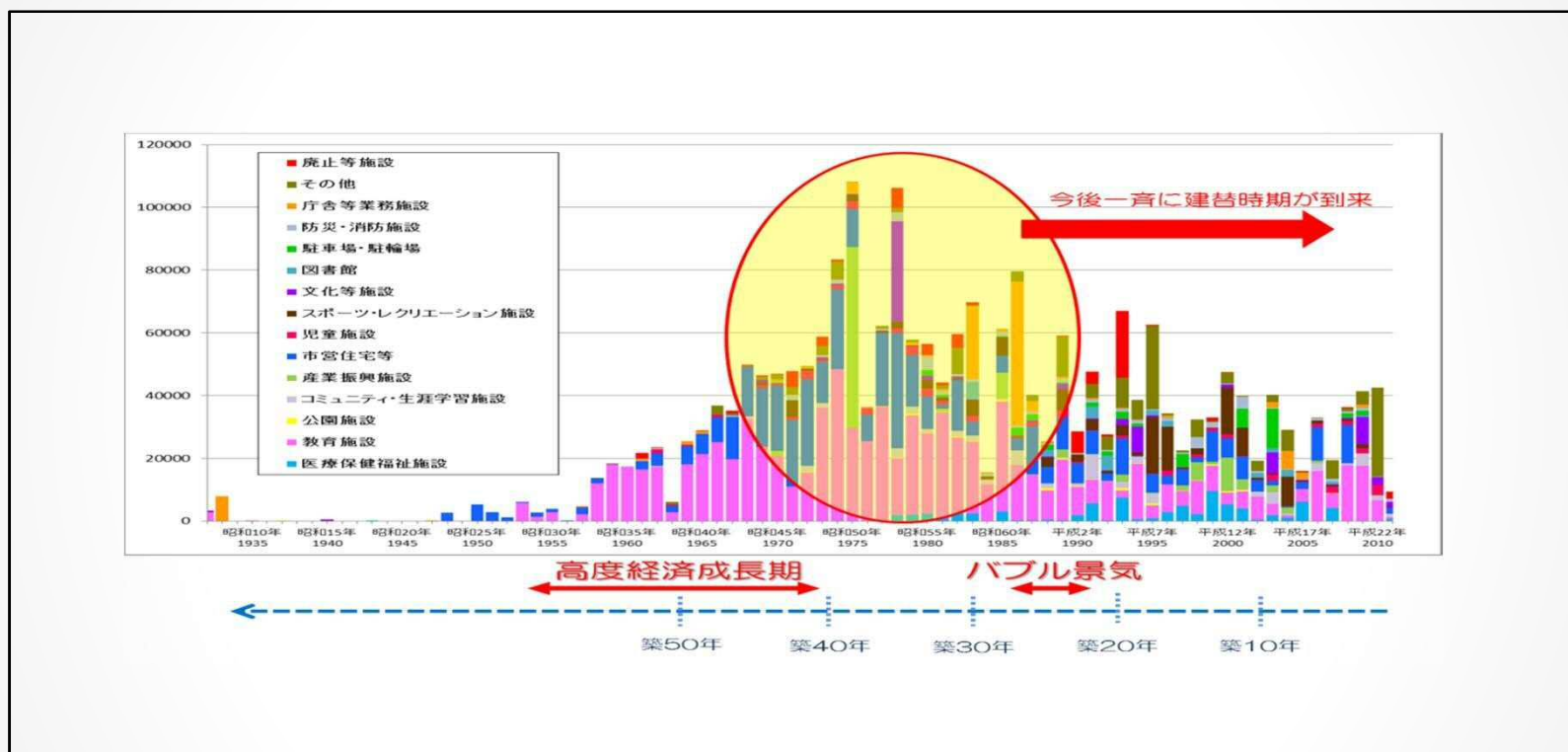
～公共施設を取り巻く環境変化に対応し、健全で  
持続可能な都市経営を実現していくために～

## 5) 主なインフラ資産の保有状況

種 別	主な施設	施設数
道 路	道路延長	3,187 k m
	橋りょう	2,648橋
	トンネル	37箇所
	舗装(延長)	3,047 k m
	横断歩道橋	44橋
	道路照明灯	11,121基
上 水 道	管路延長	2,531 k m
	浄水場	12箇所
	配水池	66箇所
下 水 道	管路延長	2,384 k m
	浄化センター	7箇所

H24.3末時点

## 6) 公共建築物の今後の見込み



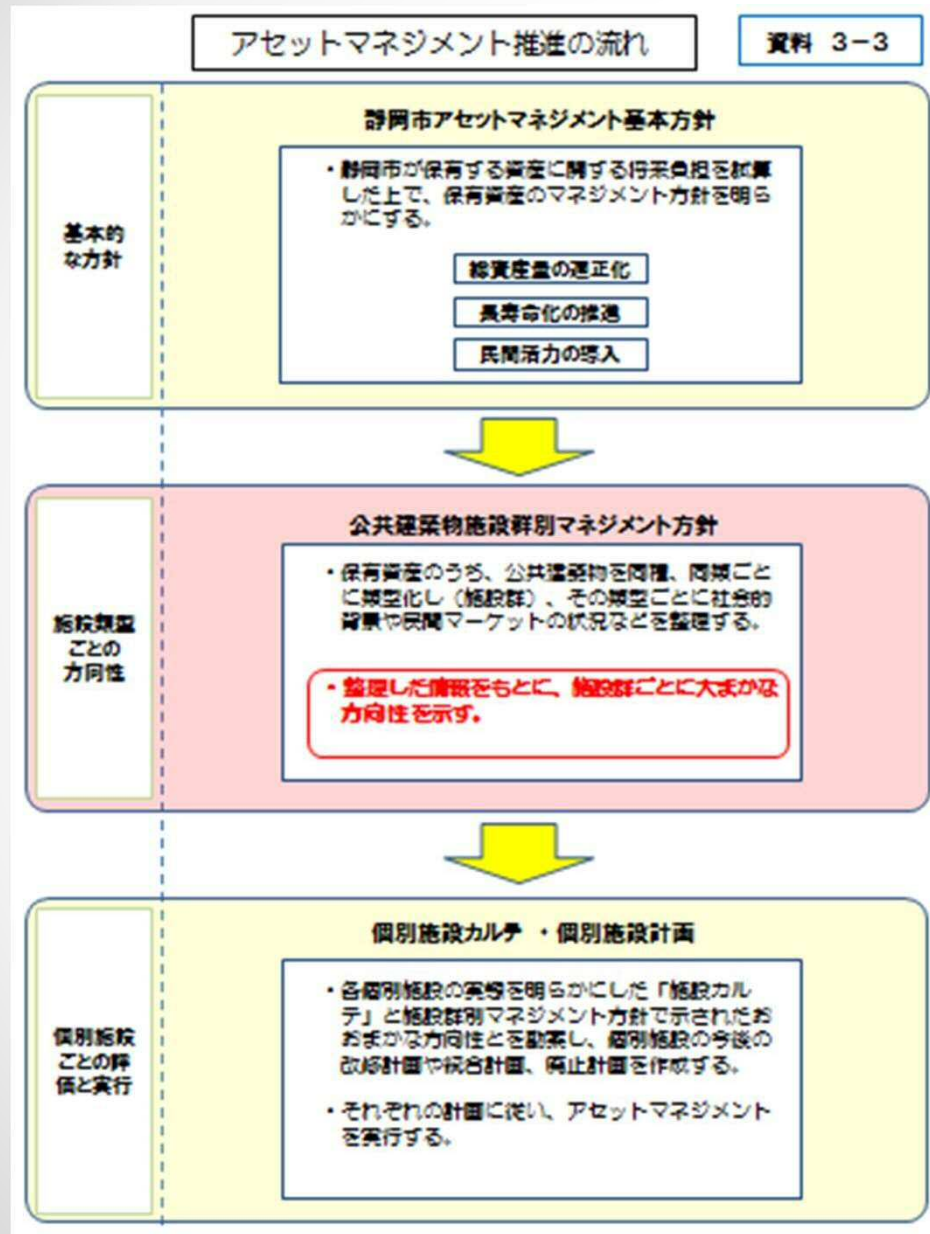
### 課題

◆ 老朽化の進行 ⇒ 築30年以上が全体の約55%

◆ 維持更新費の増大

平成25年以降30年間の維持更新費は、309億円/年(総額9,260億円)との試算

# 7) アセットマネジメントの取組



資料 3-3 を  
ご覧ください

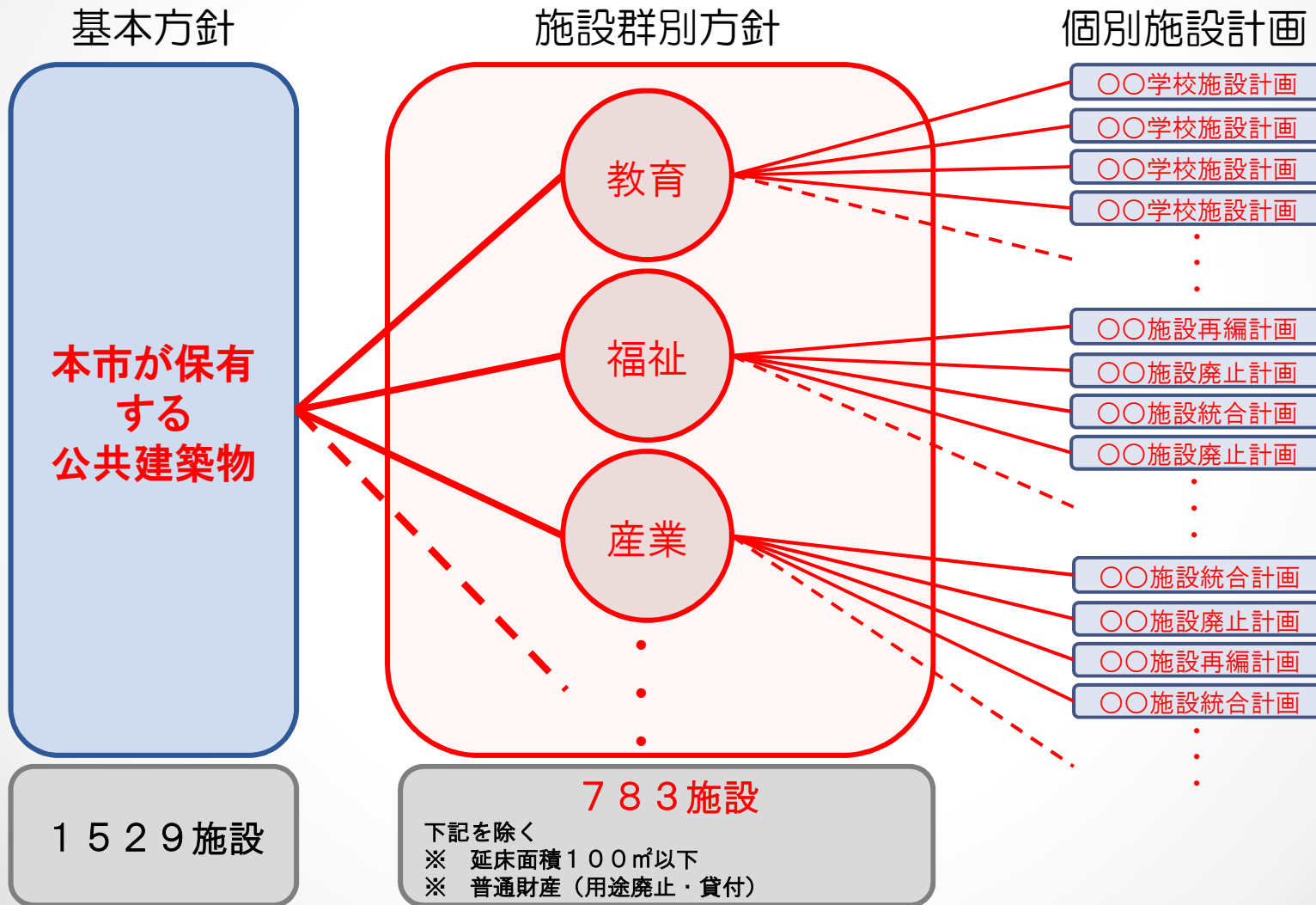


# 8) 静岡市アセットマネジメント基本方針

H26.4 策定・公表

	公共建築物	インフラ資産
1 総資産量の適正化	<ul style="list-style-type: none"><li>・保有施設を廃止、複合化、集約化、用途変更するなど、施設の縮減に取り組みます。</li><li>・新設が必要な場合は、総量規制の範囲内で費用対効果を考慮して整備します。</li><li>・施設廃止に伴う跡地は原則、売却します。</li></ul> <p>総量規制 = <b>30年間で総延床面積20%縮減 (H24.3末比)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・インフラ資産の整備にあたっては、社会情勢やニーズを的確に捉え、かつ財政状況を加味し、中長期的視点から必要な施設の整備を計画的に行います。</li><li>・整備や更新時には、長期に亘り維持管理がしやすい施設とすることで、経済性と合理性を追求します。</li></ul>
2 長寿命化の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・計画的な維持修繕(計画保全)を推進し、施設を安全に長持ちさせます。</li><li>・建替え更新時期の集中化を避けることで歳出予算の平準化を図ります。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設ごとの特性を考慮した計画的維持管理を行います。</li><li>・ライフサイクルコストを考慮し、インフラ資産を安全に長持ちさせます。</li></ul>
3 民間活力の導入	<ul style="list-style-type: none"><li>・官民の役割分担を明確にし、PPP/PFIなどの手法を用い、民間活力を施設整備や管理に積極的に導入します。</li></ul> <p>(PPP:Public Private Partnership 官民が連携して公共サービスの提供を行う事業手法の総称) (PFI:Private Finance Initiative 民間資金を活用し、設計施工運営を行う手法。)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究機関や企業との連携を強化し、新技術や新制度を取り入れ効率的な維持管理を可能にします。</li><li>・PPP/PFIなどの手法を用い、民間活力を施設整備や管理に導入します。</li></ul>

# 9) 公共建築物施設群別方針



## 9) 公共建築物施設群別方針

静岡市アセットマネジメント

【公共建築物施設群別マネジメント方針】

本編

平成26年8月

## 9) 公共建築物施設群別方針

	施設群	主な施設
1	高齢者福祉施設	・養護老人ホーム・老人福祉センター・老人憩いの家
2	障害者福祉施設	・わらしな学園・心身障害児福祉センター「いこいの家」・障害者歯科保健施設
3	保健・医療施設	・保健福祉センター・急病センター・山間地診療所・動物愛護館
4	学校教育施設	・小中学校・給食センター・青少年キャンプセンター
5	コミュニティ・生涯学習施設	・生涯学習施設・市民活動センター・女性会館
6	産業振興施設	・産学交流センター（ビネスト）・清水産業情報プラザ・ラベック・テルサ
7	市営住宅等	・市営住宅・職員住宅・寄宿舎
8	児童施設	・保育所・児童クラブ・子育て支援センター・児童館
9	スポーツ施設	・体育館・プール・野球場・テニスコート・コミュニティーセンター
10	レクリエーション施設	・山小屋・休憩所・公衆浴場・梅ヶ島キャンプ場
11	文化等施設	・市民文化会館・A O I・美術館・科学館・登呂博物館・動物園
12	図書館	・中央図書館
13	駐車場・駐輪場	・エキパ・黒金町駐輪場
14	防災・消防施設	・消防署・出張所
15	庁舎等業務施設	・静岡庁舎・清水庁舎・駿河区役所・井川支所・市民サービスコーナー・書庫・倉庫
16	その他	・沼上清掃工場・資源循環センター・斎場・看護専門学校・ヘリポート・児童相談所

## 9) 公共建築物施設群別方針

	施設群	主な施設
1	高齢者福祉施設	・養護老人ホーム・老人福祉センター・老人憩いの家
2	障害者福祉施設	・わらしな学園・心身障害児福祉センター「いこいの家」・障害者歯科保健施設
3	保健・医療施設	・保健福祉センター・急病センター・山間地診療所・動物愛護館
4	学校教育施設	・給食センター・青少年キャンプセンター
5	コミュニティ・生涯学習施設	・生涯学習施設・市民活動センター・女性会館
6	産業振興施設	・産学交流センター（ビネスト）・清水産業情報プラザ・ラベック・テルサ
7	市営住宅等	・市営住宅・職員住宅・寄宿舎
8	児童施設	・保育所・児童クラブ・子育て支援センター・児童館
9	スポーツ施設	・体育館・プール・野球場・テニスコート・コミュニティーセンター
10	レクリエーション施設	・山小屋・休憩所・公衆浴場・梅ヶ島キャンプ場
11	文化等施設	・市民文化会館・A O I・美術館・科学館・登呂博物館・動物園
12	図書館	・中央図書館
13	駐車場・駐輪場	・エキパ・黒金町駐輪場
14	防災・消防施設	・消防署・出張所
15	庁舎等業務施設	・静岡庁舎・清水庁舎・駿河区役所・井川支所・市民サービスコーナー・書庫・倉庫
16	その他	・沼上清掃工場・資源循環センター・斎場・看護専門学校・ヘリポート・児童相談所

**目的** 健全で持続可能な都市経営の実現

アセットマネジメントとは・・・

計画的に効率よく施設の整備や維持管理を行うことで施設の寿命を延ばしたり、利活用促進や統合をすすめることで将来負担の軽減を図り、都市経営上の健全性を維持していく手法。

**方針期間** 平成26年度～平成55年度(30年間)

※高度経済成長期に続く10年の期間及びバブル期に整備された公共建築物の半数以上が現在から30年後までに建替え更新を終えることから、方針期間を30年間とした。

**静岡市の現状**

【人口推移】

- ◆平成2年をピークに減少傾向
- ◆生産年齢人口割合の減少

平成22年 716,197人 ※1  
平成52年 558,931人 ※2  
⇒30年後に約20%減少

※1 総務省統計局「国勢調査」  
※2 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

【財政状況】

- ◆一般財源総額の伸び悩み
- ◆義務的経費(人件費、扶助費、公債費)の増加(歳出予算の約50%を占める)

**公共施設の現状と課題**

【公共建築物】 学校、市営住宅等 H24.3末時点  
※他に生涯学習施設、図書館など

施設数 1,529施設  
総延床面積 2,301,026㎡

課題

- ◆老朽化の進行 ⇒築30年以上が全体の約55%
- ◆維持更新費の増大  
平成25年以降30年間の維持更新費は、309億円/年※3(総額9,260億円)との試算

※3 試算条件

- ・現在保有する公共建築物を全て保有し続けたとする。
- ・建替え更新周期は、40年周期、大規模改修は15年周期とする。
- ・維持更新費は、更新費及び大規模修繕費の合算額。

【インフラ資産】 道路、上下水道等 H24.3末時点  
※他に河川施設、農林施設など

種別	主な施設	施設数
道路	道路延長	3,187km
	橋りょう	2,648橋
	トンネル	37箇所
	舗装(延長)	3,047km
	横断歩道橋	44橋
上水道	道路照明灯	11,121基
	管路延長	2,531km
	浄水場	12箇所
下水道	配水池	66箇所
	管路延長	2,384km
	浄化センター	7箇所

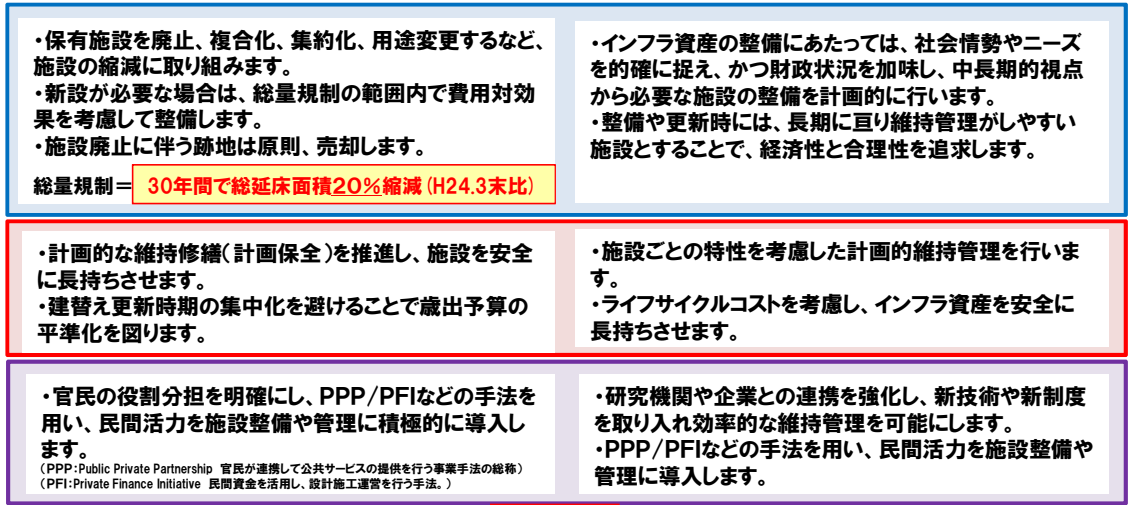
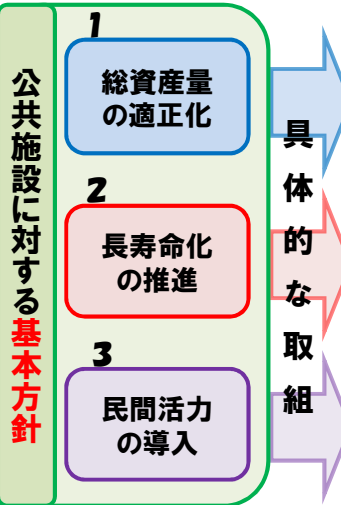
課題(インフラ資産の一例:橋りょう)

- ◆老朽化の進行 ⇒築後50年以上の橋りょうが全体の約30%
- ◆維持更新費の増大  
平成25年以降50年間の維持更新費は25億円/年(総額1,250億円)との試算

目的実現のためにはアセットマネジメントの導入が必要

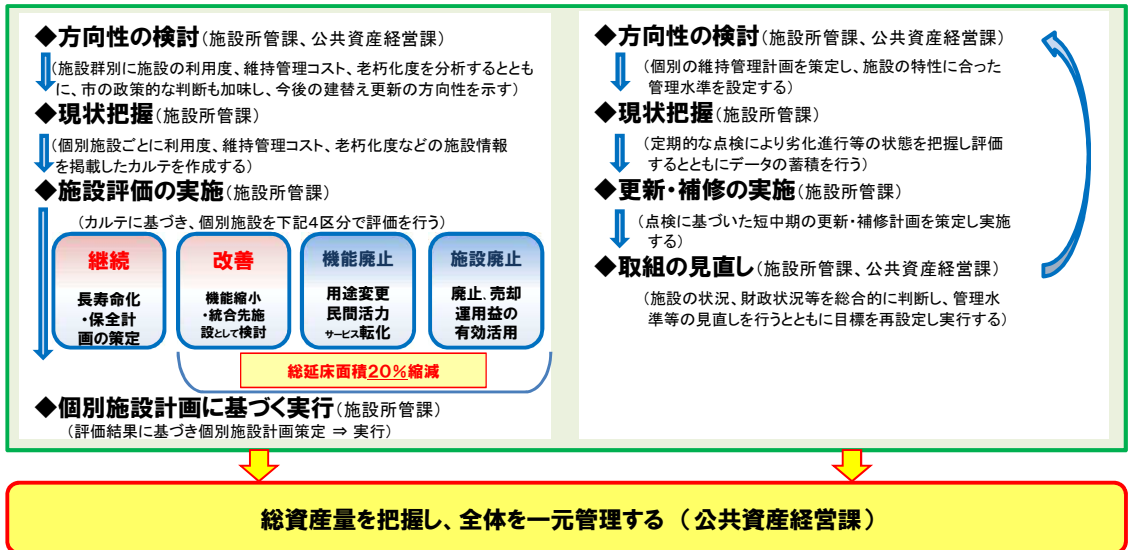
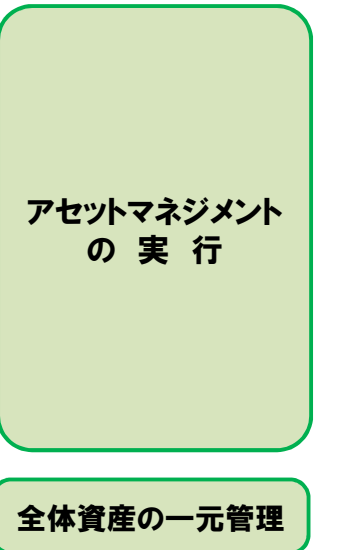
公共建築物

インフラ資産



公共建築物

インフラ資産



基本的な方針

静岡市アセットマネジメント基本方針

- ・静岡市が保有する資産に関する将来負担を試算した上で、保有資産のマネジメント方針を明らかにする。

総資産量の適正化

長寿命化の推進

民間活力の導入



施設類型ごとの方向性

公共建築物施設群別マネジメント方針

- ・保有資産のうち、公共建築物を同種、同類ごとに類型化し（施設群）、その類型ごとに社会的背景や民間マーケットの状況などを整理する。

- ・整理した情報をもとに、施設群ごとに大まかな方向性を示す。



個別施設ごとの評価と実行

個別施設カルテ・個別施設計画

- ・各個別施設の実態を明らかにした「施設カルテ」と施設群別マネジメント方針で示されたおおまかな方向性とを勘案し、個別施設の今後の改修計画や統合計画、廃止計画を作成する。
- ・それぞれの計画に従い、アセットマネジメントを実行する。

	施設群	主な施設
1	高齢者福祉施設	・養護老人ホーム・老人福祉センター・老人憩いの家
2	障害者福祉施設	・わらしな学園・心身障害児福祉センター「いこいの家」・障害者歯科保健施設
3	保健・医療施設	・保健福祉センター・急病センター・山間地診療所・動物愛護館
4	学校教育施設	・給食センター・青少年キャンプセンター
5	コミュニティ・生涯学習施設	・生涯学習施設・市民活動センター・女性会館
6	産業振興施設	・産学交流センター（ピネスト）・清水産業情報プラザ・ラベック・テルサ
7	市営住宅等	・市営住宅・職員住宅・寄宿舎
8	児童施設	・保育所・児童クラブ・子育て支援センター・児童館
9	スポーツ施設	・体育館・プール・野球場・テニスコート・コミュニティーセンター
10	レクリエーション施設	・山小屋・休憩所・公衆浴場・梅ヶ島キャンプ場
11	文化等施設	・市民文化会館・A O I ・美術館・科学館・登呂博物館・動物園
12	図書館	・中央図書館
13	駐車場・駐輪場	・エキパ・黒金町駐輪場
14	防災・消防施設	・消防署・出張所
15	庁舎等業務施設	・静岡庁舎・清水庁舎・駿河区役所・井川支所・市民サービスコーナー・書庫・倉庫
16	その他	・沼上清掃工場・資源循環センター・斎場・看護専門学校・ヘリポート・児童相談所

※ 網掛けの施設群が行革審での議題対象